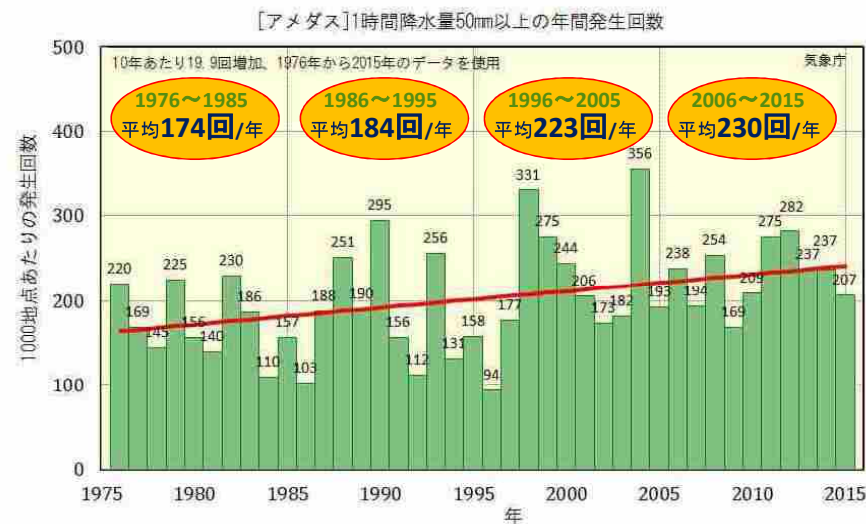


20
昔とは雨の降り方がかわってきています。
1時間50mm以上の雨 → 増加している(全国)



21
平成16年7月 新潟豪雨災害 五十嵐川・刈谷田川

- 100年に一度の洪水でも耐えられる堤防が完成、上流にダムもありました…
- 新潟県下で死者15名、全壊家屋70棟、床上浸水・床上浸水合わせ8,295棟。

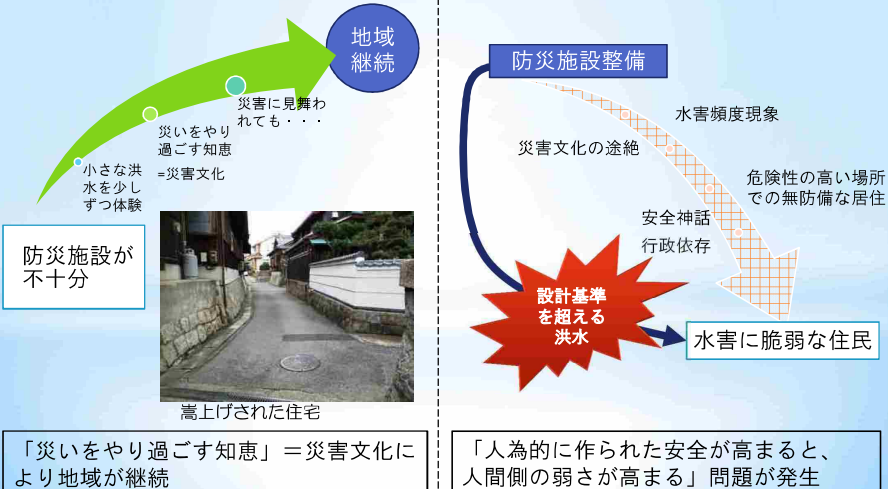
「治水に完全はない」



22
水害に対する地域防災力の低下

かつては…

現在は…



23
片田敏孝教授の発言

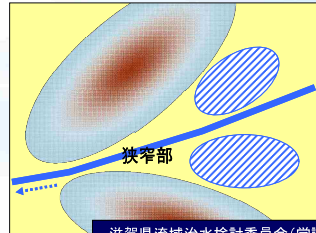
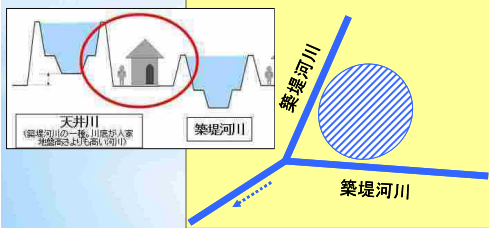
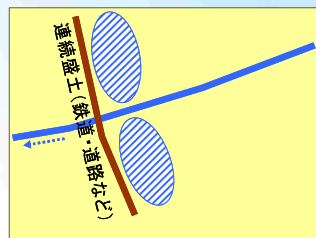
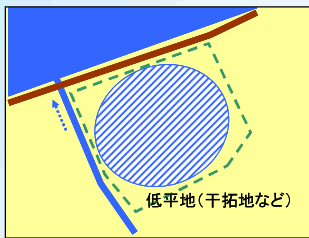
(平成20年12月13日 流域治水シンポジウム)



「…だけどこれ(防災施設)は100年の1回ぐらいのレベルでしか守っていないのですから、災害が起こるとすれば、これを越えるような規模の大きなものだけです。つまり、**無防備になり、災いをやり過ぎず知恵を失った住民に襲いかかるのは、100年確率を越えてくるような大きな災害のみ**という変な構造ができあがってきます。」

半永久的に水害リスクが残る箇所

→下図に示す【くぼみ】や【せき止められている】ところは、河川整備の進捗にかかわらず水が集中する。



滋賀県流域治水検討委員会(学識部会) 平成21年(2009年)7月17日資料から抜粋

「しがの流域治水」

～地域性を考慮した総合的な治水対策の展開～



滋賀県流域治水条例の目的
1. どのような洪水でも、人の命を守る(最優先)
2. 床上浸水など生活再建が難しくなる被害を避ける



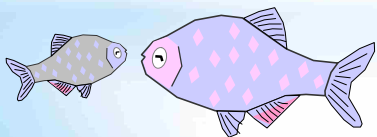
4つの対策を総合的に実施



滋賀県が進める流域治水について

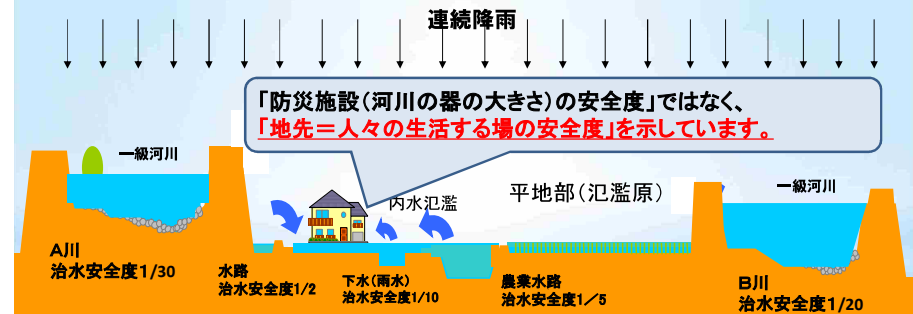
多重防御のために

■ まずはリスクを知ることが大切です
地先の安全度マップ
洪水ハザードマップ



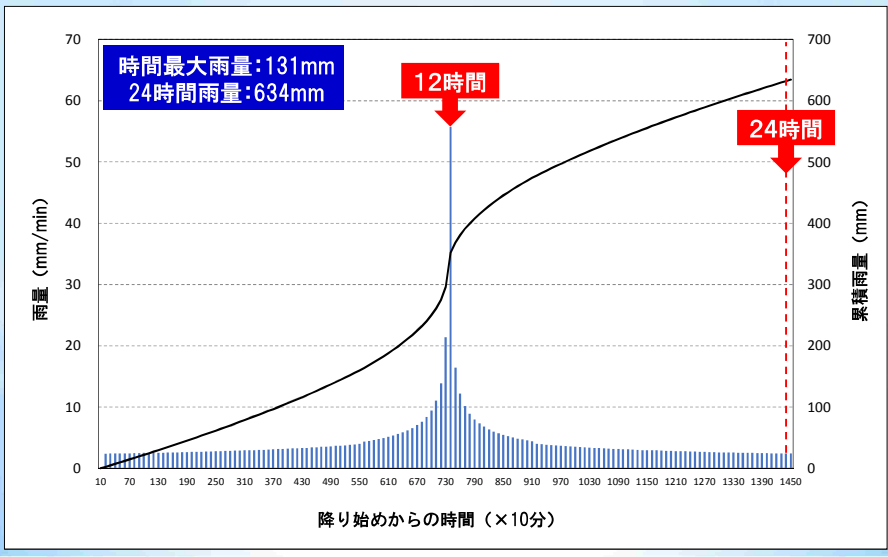
流域治水の基礎情報 「地先の安全度マップ」²⁷ (全国初。平成24年9月公表)

大川だけではなく、身近な水路のはん濫なども考慮した浸水想定マップ(10年、100年、200年に一度の雨)



一 浸水想定区域図: 大きな川からのみ氾濫。他は晴天
一 地先の安全度マップ: 大きな川だけではなく、身近な水路も氾濫
→ 実現に近い予測が可能となった

想定した大雨の時間的变化 (200年に一度の大雨：時間最大131mm程度)



200年に一度の降雨とは

- × 200年に一度しかおこらない降雨
- 1年のうちに発生する確率が1/200(0.5%)の降雨

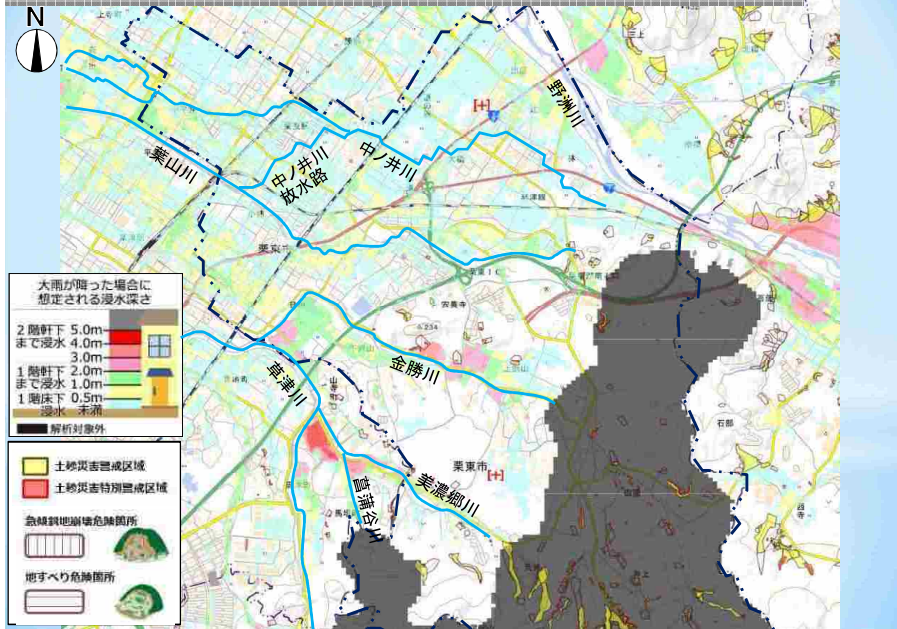
「200年確率の降雨」が	今後1年間に起こる確率	0.5%
	今後30年間に起こる確率	14.0%
	今後100年間に起こる確率	39.0%



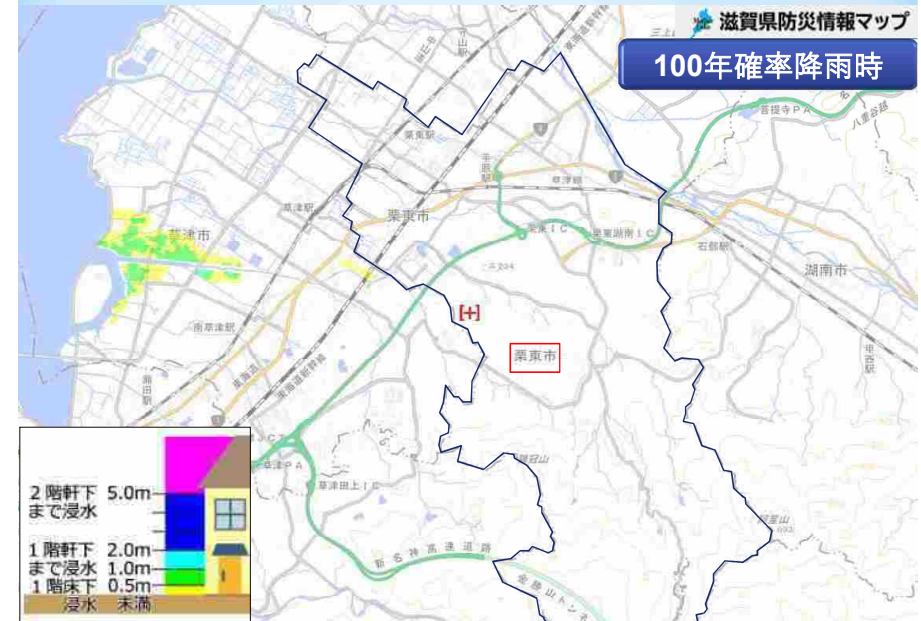
琵琶湖西岸断層帯北部の、今後30年以内の地震発生確率は1%から3%

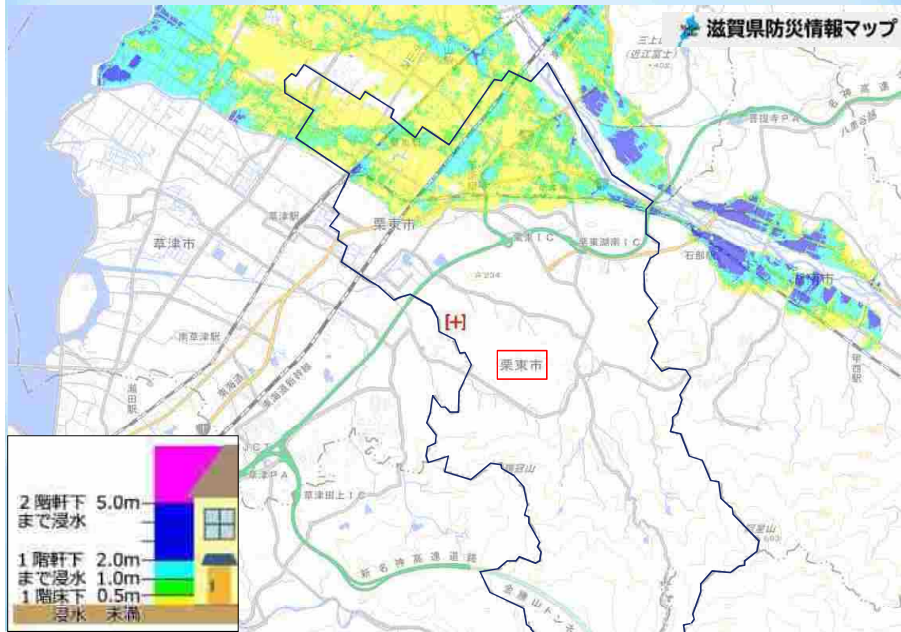
3世代に1世代は、命に係わる危険性のある水害に遭遇するおそれがある。

地先の安全度マップ・浸水深図 (200年確率降雨・時間雨量131mm)



草津川 洪水浸水想定区域図 (計画規模)





本日の内容

1. 近年の水害発生状況
2. 「しがの流域治水」の考え方
3. 滋賀県の水害リスクの特徴
4. 土砂災害について
5. 大雨に備えて地域でできること
～地域での取り組み事例～

【参考】 浸水時の留意事項
降雨時の情報入手方法

滋賀県における浸水被害の特徴

- | | | |
|-------------------------------|--------------------|----------------------|
| 【Ⅰ 大雨の最中】
まちなか水路
小河川の氾濫 | 【Ⅱ 大雨後】
中大河川の氾濫 | 【Ⅲ 約1日後】
琵琶湖水位の上昇 |
|-------------------------------|--------------------|----------------------|



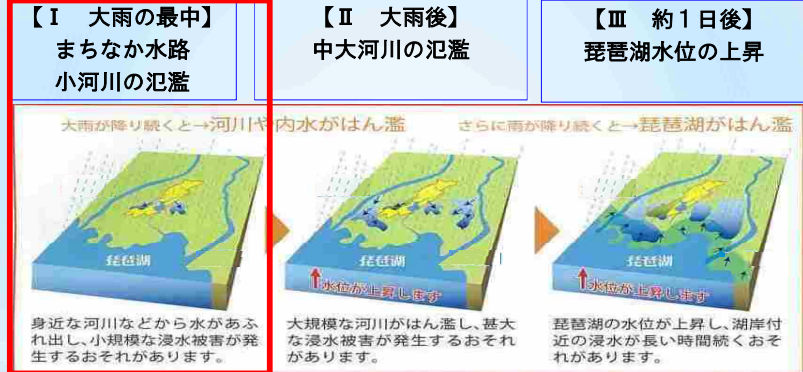
浸水想定区域図
(中大河川ごと)
100年確率降雨

琵琶湖浸水想定区域図
観測史上最大降雨
(明治29年豪雨)

地先の安全度マップ(最大浸水深図)
10年確率・100年確率・200年確率降雨

※実現象をイメージして、リスク情報を活用することが重要

滋賀県における浸水被害の特徴



浸水想定区域図
(中大河川ごと)
100年確率降雨

琵琶湖浸水想定区域図
観測史上最大降雨
(明治29年豪雨)

地先の安全度マップ (最大浸水深図)
10年確率・100年確率・200年確率降雨

※実現象をイメージして、リスク情報を活用することが重要

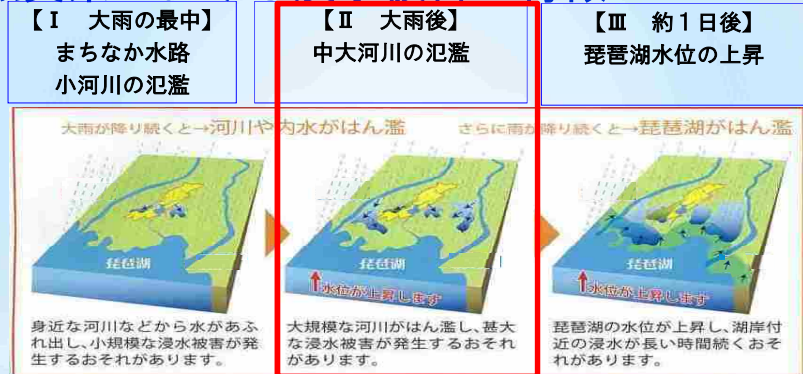
I まちなか水路・小河川の氾濫

平成25年9月16日
台風18号
野洲市



← 野洲駅前 ↑

滋賀県における浸水被害の特徴



浸水想定区域図
(中大河川ごと)
100年確率降雨

琵琶湖浸水想定区域図
観測史上最大降雨
(明治29年豪雨)

地先の安全度マップ (最大浸水深図)
10年確率・100年確率・200年確率降雨

※実現象をイメージして、リスク情報を活用することが重要

高島市朽木野尻

